

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	たちばな医療専門学校
設置者名	社会福祉法人 たちばな会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
夜間定時制 (2年課程)	看護科	②・通信	1,780単位時間	135単位時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.tachibana-iryuu.ac.jp/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	たちばな医療専門学校
設置者名	社会福祉法人

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	運営委員会
役割	申請時点において、教育についての外部人材の意見を反映する組織の規程が整備不十分であるため、「2020年4月1日までに、外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程の整備を確実に実施する。」

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考) 「2020年4月1日までに、複数の外部人材の選任を確実に実施する。」		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	たちばな医療専門学校
設置者名	社会福祉法人 たちばな会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業科目については、准看護師で履修した看護の基礎知識と、臨床現場での実践をフィードバックしながら学習が深化できるように講義内容を精選して、各科目の重複を避けた。授業方法として、自己学習、グループワーク、視聴覚教材等を取り入れ、自主的な学習態度を養う機会を設け、講義、学内演習、臨地実習に一貫性を持たせた。</p> <p>時間的には、月曜日から金曜日まで授業、実習を組み、1時間45分、1コマ90分、1日4時間の授業運営とした。</p> <p>各授業科目で、授業の方法・内容・到達目標・成績評価の方法や基準・その他の事項を授業計画(シラバス)を作成し、3年間分を一冊の刷子として1年次学生に配布している。</p> <p>カリキュラムを構築する上で、教育理念・教育目的・教育目標に沿ったより質が高く効果的な教育ができるよう、学科ごとに度重なる検討をした。科目の設定理由を明確にし、教務会議、職員会議等の審議を経て作成している。</p> <p>公表に関しては、随時、希望があれば配布している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.tachibana-iryuu.ac.jp/

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

- (1) 授業科目の試験は、筆記、レポート提出、実技等の方法により行う。
また、複数の方法を併用する事ができる。
- (2) 授業科目の単位修得は、本校において実施する試験に合格しなければならない。
- (3) 授業科目を受講し、合格した者に対して所定の単位を与える。
- (4) 筆記試験の時間は、1科目 50分とする。
- (5) やむを得ない理由によって試験開始後 15分以内の遅刻をした者については、受験を認める。ただし、試験時間は延長しない。
- (6) 受験中に不正行為があった場合は、即受験を中止し、その学期の当該科目及びそれ以降の試験について、受験資格を失う。
不正行為とは、カンニング、受験中の私語、不審な行動をいう。
- (7) 学校長は、不合格のある者に対しては、再試験を行うことができる。
- (8) 実習は、定められた実習計画に従って履修する。
- (9) 卒業論文に関しては、看護研究と実習での一例をテーマとしてまとめ、各教員指導の下、全学年の前で発表する。(各グループにして)
- (10) 学習の評価は、試験、実習評価表の成績、実習態度及び出席状況などを総合し、評価基準により行う。
- (11) 履修評価の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する方法を客観的な指標として設定している。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

- (1) 授業科目の評価(単位修得の認定)は、学科試験及び臨地実習の成績によって行う。
ただし、それぞれの科目の出席時数が、授業の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受ける事ができない。
- (2) 学習の評価は、優(80点以上)良(70~79点)可(60~69点)及び不可(60点未満)の4段階評価とし、可以上を合格とする。
- (3) 単位の認定は、合格した者に対して所定の単位を与える。
- (4) 大学卒業の単位は、本人からの申請に基づき、個々の既習の内容を評価し、本校の教育内容に相当するものと認められる場合には、本校の履修に替えることができる。
- (5) 履修評価の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する方法を客観的な指標として設定している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.tachibana-iryu.ac.jp/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

- (1) 進級又は卒業の認定は、本校所定の教育課程を修了した者について学習評価及び出席状況・教科外活動への参加状況・主体的に学ぶ理念としての授業料を収めた者を勘案して、進級卒業認定委員会において決定する。
- (2) 卒業認定に関する方針は、学校の教育理念・教育目的・教育目標に基づき3年次の学年別目標に到達できた学生とする。
- (3) 卒業及び資格の取得に関しては、学校長は、卒業を認定された者に対し、専門士の称号（医療専門課程）と卒業証書を授与する。
- (4) 本校を卒業した者は、看護師国家試験、保健師学校、助産師学校の受験資格が与えられる。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.tachibana-iryuu.ac.jp/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	たちばな医療専門学校
設置者名	社会福祉法人 たちばな会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.tachibana-iryuu.ac.jp/
収支計算書又は損益計算書	https://www.tachibana-iryuu.ac.jp/
財産目録	https://www.tachibana-iryuu.ac.jp/
事業報告書	https://www.tachibana-iryuu.ac.jp/
監事による監査報告（書）	https://www.tachibana-iryuu.ac.jp/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		看護師2年課程 (夜間定時制)	看護科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	夜	2,190 単位時間	1,295 単位時間	105 単位時間	720 単位時間	20 単位時間	50 単位時間
			(合計) 2,190 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		59人	0人	7人	27人	34人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年間の授業計画は、1月に1年分作成し、年間の授業計画に基づきカリキュラムに関しては、毎月ごとに教職員・学生・各施設・講義の講師に配布し、授業を実施している。又、講義の変更等は、教務室内の白板も毎月のカリキュラムを貼り出してあるので、教員・学生は確認する。授業方法及び内容については、講師・教員全員からシラバス提出を義務付けており、3年間分を冊子にして入学時に配布し、変更の場合は、その都度再度シラバスを配布して授業方法及び内容を周知している。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価は、学習の評価に関して、学科は出題教員の採点により、すべて100点制としている。（出席状況・レポート提出も含む）1科目につき出題教員が複数に及ぶときは、その平均点としている。追試験の成績は、80%、再試験の成績は60点以上の場合も60点。実習評価は、実習科目について、実習評価表の成績、実習態度及び出席状況を総合し、100点制をもって評定する。実習成績が60点未満の者及び病気その他の理由により実習科目の授業時間が満たない者は、補習実習願を提出し許可を受けた後、所定の補習実習を行い評価を受けることができる。

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要) 進級・卒業の認定に関しては、進級・卒業認定委員会において総合判断する。進級卒業認定委員会は、学校長、副校長、事務長及び教務主任並びに学校長が委嘱する委員をもって構成する。学校長は、進級卒業委員会を招集し、会議を主催する。単位認定は年2回、進級卒業認定は年1回開催する。ただし、必要に応じて会議を招集することができる。</p> <p>1. その学年の学習に未修得がある者 2. 出席状況(教科外活動は年間2/3出席)、生活態度に問題がある学生 3. 授業料等所定の期限までに未納の学生に対しては、進級卒業判定委員会において総合判断し、留年・卒業延期又は訓戒処分等の方法をとる。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要) 学校隣接の3施設よりの修学資金が希望者に貸与される。また、日本学生支援機構、鹿児島県の修学資金、熊本県の修学資金等希望者に説明し、書類提出・審査のうえ貸与が行われる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
22人 (100%)	0人 (0%)	22人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院・施設等全員看護職として勤務している。			
(就職指導内容) 学生が希望する就職先への就職を指導している。県の奨学金の貸与を受けている学生は、それぞれ県内に就職するよう説明している。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 専門士の称号(医療専門課程)、卒業証書、看護師国家試験・保健師学校・助産師学校の受験資格			
(備考)(任意記載事項) 当校卒業後、大学3年生への編入や介護支援専門員(ケアマネージャー)の資格をとる学生もいる。(准看2年+当校3年)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
75人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護科	150,000 円	600,000 円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
医療法人仁心会・社会福祉法人たちばな会の運営する病院・施設に勤務し、希望する学生に奨学金の貸与を実施している。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
https://www.tachibana-iryuu.ac.jp/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
(主な評価項目)		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育課程に関して話し合う。(授業科目、単位、時間、授業方法) 2. 進路指導に対して話し合う。(学生が希望する働きやすい職場とはなど) 3. 主な評価委員会の構成は、委員の定数は10名、委員の選出区分は、学校を運営している法人以外の総務部長、副総務部長、顧問、総師長、非常勤講師、卒業生など。委員の中から委員長、副委員長を選出する。 4. 評価結果の活用方法については、評価結果を踏まえた改善方策を話し合う。時期は3月、責任者は、委員長副委員長とし、学校側へ提案いただくとともにホームページにて公表する。 		
学校関係者評価の委員		
「学校関係者評価を確実に実施し、2020年度からその結果を公表するために委員の選任を行う」		
所属	任期	種別
学校関係者評価結果の公表方法		
「2020年度から評価を確実に公表する」		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

https://www.tachibana-iryuu.ac.jp/
